

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひまわりみさき公園		
○保護者評価実施期間	R6年9月1日		～ R6年10月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R6年9月1日		～ R6年10月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自宅や学校以外に楽しい・面白い場所を提供し、お互い協力して行く事で優しさ・思いやりを養う・可能性を大切に気持ちが前向きになれるような手作業療育を取り入れる	かわがや制作を通して、表現する喜びを体験し、人への関心を育み、意欲的に関われるような豊かな感受性が芽生えるように支援	宿題・療育・創作を通して基礎的なスキルをあげ、自分にとって面白い楽しいを見つけられるように支援
2	基本的な生活習慣を身に付け社会性を育て、18歳からの就労支援、独立に繋げる	基本的な日常生活や自立生活を支援し、成功体験の積み重ねを促し自信へと繋がるようにし、社会経験の幅を広げると共に、地域と交流していけるように支援	地域交流、人との関わり、成功体験の積み重ねにより、気持ちの調整する力、主張する力、折り合いをつける力が向上するように支援
3	保護者支援	保護者が抱えている不安や悩みが少しでも軽減できるようにし、保護者同士のコミュニケーションが取れるように支援	保護者相談会を行ったり、保護者の方が少しでも時間や気持ちにゆとりが持てるように支援

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスひまわりみさき公園

公表日 R7年 2 月 15 日

利用児童数 R7 年 2 月 1 日

回収数

1

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					1	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					1	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					1	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスひまわりみさき公園		公表日		R7年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		机などを移動し、広いスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	既定の人員配置は行っている。児童の数は多い時は人員を増やし対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		トイレや靴箱に写真を貼るなどし児童が視覚ですぐにわかるよう支援している。事業所内は、バリアフリーになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	トイレの分解掃除や部屋の掃除は毎日おこなっている。壁に児童の製作物を掲示している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の様子で事務所を個別の場所として利用する事を認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		月2回会議を設けている。その際に色々な課題で話し合いや研修をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様からの意見等があれば都度、職員間で話し合いをしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	月2回会議を設けている。その際に色々な課題で話し合いや研修をしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者評価を行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員が受講後、毎月2回社内研修や情報を共有している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公表されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		年2回保護者との面談をし支援計画について話している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		毎月ケース会議にて検討し、職員間で共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		月に1回ケース会議を行い、各児童の情報を共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ケース記録を記入し日々の活動記録、児童の様子を観察し記録として残し、問題等が発生した際は都度、職員間で共有し話し合いを設けている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	職員全員で話し合いながら企画イベントを考えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員から各々意見を出し合いイベント企画を考えている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝のミーティングで行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	翌日朝会で前日の振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日ケース記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回の親御さんとの面談で見直し継続を判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		相談支援事業所の担当者会議の出席は管理者・児童発達管理責任者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	デイサービスから一番近い病院との連携をお願いしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	就学前に支援センターに見学をお願いし、今後の療育へ繋げた。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		就学前に支援センターに見学をお願いし、今後の療育へ繋げた。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	児童発達支援センターに見学へ行かしていただいたことはあるが、助言等を頂くまではない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	していない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		利用状況は、常に保護者に伝えている。その際に成長を感じたこともお伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修などは行っていないが、情報があればお伝えしている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明はしている。利用明細書も毎月お渡ししている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		利用前に保護者様と話をし児童の様子を伺い支援内容を決め説明している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		年2回の保護者との面談時に確認し説明を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		困りごとがあればLINEや電話で話をお伺いし、場合によっては事業所やその他の場所で話を伺っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		父母の会は、今のところない。今後は検討し保護者同士で交流の場が提供できればと思っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		何か問題が起きた際は、職員間で問題を共有し話し合い対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ひまわり新聞を作り、年4回発信している。それ以外にInstagramで日々の療育様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		職員間で徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		各児童の特性にあった方法で対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		夏：そうめん流し・冬：クリスマス会等 年末に事業所近くの株式会社ヒョウベイさんに餅つきの招待して頂き参加した。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員及び児童の避難場所・連絡先は把握し事務所に掲示している。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		職員間のBCPの研修・児童を伴う避難訓練実施をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		保護者との面談時、薬の服用や自宅での対応をその都度確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		今のところアレルギーの児童はいませんが、契約時に保護者から聞き取り対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		行われている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		ひまわりデイサービスの避難場所をお伝えしている。各ご家庭の避難場所や緊急連絡先を確認している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所内で研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		今のところ身体拘束を行う児童はいない。もし身体拘束が必要とする児童が来所する場合は、保護者の理解を得たうえで、計画書に記載し保護者に説明をしていく。	